

ボルチモア市は タバコフィルターの廃棄物(吸い殻など)について タバコ会社に対して初めての訴訟を起こしました

2022年11月21日 月曜日



ボルチモア市長

ブランドン・M・スコット

250 City Hall - Baltimore Maryland 21202

(410) 396-3835 - Fax: (410) 576-9425

(日本禁煙学会 理事 松崎道幸・訳)

【プレスリリース】

メリーランド州ボルチモア。(2022年11月21日 月曜日) - ボルチモア市とブランドン・スコット市長は本日、タバコ製品のごみ清掃費用について、タバコメーカーに責任を負わせる訴訟を共同で提起したことを発表しました。

毎年、何百万ものタバコフィルターがボルチモア中に散らばっています。それらは土壌と水を汚染し、都市に大きな負担を押し付けてきました。ボルチモア市は年間 3,200 万ドル以上を費やして 2,600 トン以上のごみを回収しており、そのうち 530 万ドルは紙巻きタバコフィルターのごみの処理に費やされています。市は、廃棄されたフィルター処理の責任をタバコ会社が負うべきであり、タバコ製品のごみの清掃費用を負担すべきであると主張しています。

「これは紙巻きタバコメーカーに対する初めてのごみ訴訟であり、ボルチモア市が、これらの企業が何十年にもわたって私たちのようなコミュニティに負担をかけてきた清掃費用をタバコ会社に払わせるための訴訟を、世界で最初に実行した都市となったことを誇りに思っています」とブランドン・M・スコット市長は述べています。

タバコのフィルターは（天然繊維の）コットンのように見えますが、実は酢酸セルロースベースの非生分解性プラスチックです。カリフォルニア大学バークレー校の研究によると、タバコの吸い殻を地面に捨てると、重金属、アンモニア、ホルムアルデヒド、ベンゼンなどの有毒なタバコ添加物が水や土壌を汚染する恐れがあります。これらの非生分解性フィルターが放出する化学物質は、何十年も環境中にとどまる可能性があります。

オーガニックな原料から作られた生分解性タバコフィルターは存在しますが、多くのタバコ会社は、顧客が非生分解性フィルターの「喫味」を好むため、非生分解性フィルター使用を続けているのです。また、タバコ会社は、売り上げが減る恐れがあるため、タバコのパッケージに、有毒な紙巻きタバコフィルターを適切に廃棄するよう呼び掛ける警告文を表示することを拒否してきました。これらの結果、動植物、土壌、水系に悲惨な環境汚染をもたらしました。タバコフィルターは世界中どこでも見られるごみであり、世界中で毎年推定 4 兆 5,000 億個のフィルターが捨てられています。

ボルチモア市の公共事業課（DPW：Department of public works）は市内のゴミ処理サービスを提供していますが、紙巻きタバコフィルターによる下水や排水管の詰まりを取り除くために何百万ドルも費やされ、予算が足りなくなっています。ボルチモアのごみ収集への年間予算のかなりの部分は、タバコフィルターのごみ処理に費やされています。これは被告タバコ会社が消費者を欺き、必要な情報を隠し、タバコフィルターの清掃費用をボルチモアに負担させてきた結果なのです。

「何十年もの間、自社製品の健康リスクを認めてこなかったタバコ会社が、今度は、タバコの吸い殻の廃棄物に対する責任を取ることを拒否している」と、ボルチモア市の顧問弁護士ジェームズ・L・シェイは述べました。「この訴訟は、タバコ製品が市の道路や水路に与えた損害について、巨大タバコ企業の責任を問うことになると信じています」

ボルチモアの訴訟は、清掃と処分の費用を含む、市内のタバコフィルターのごみに起因する支出と損失を回収することを求めています。

ボルチモアの訴訟は、タバコ製品のゴミの清掃と処分の費用、天然資源への損害、資産価値の減少、収入の損失、および市内にゴミを投棄したことに対する多額の罰金など、市内のタバコフィルターごみに起因する支出と損失をタバコ会社に払わせることを求めています。

担当弁護士：ボルチモア市法務局のサラ・グロスとジェーン・ルイス、ミルバーグ・コールマン・ブライソン・フィリップス・グロスマン法律事務所、スマウス・アンド・メイソン LLC

訴訟相手：フィリップ・モリス、アルトリア・グループ、RJ・レイノルズ・タバコ・カンパニー、ブリテイツ・アメリカン・タバコ、リゲット・グループ、およびタバコ販売業者のジョージ・J・ファルター・カンパニー